

令和2年度諸会議開催・出席報告

I. 開催会議

定 時 総 会	1 回
監 査 会	1 回
懇 談 会	1 回
例 会	6 回
総 務 委 員 会	8 回
総務委員会正副委員長会議	10 回
委員会・特別委員会	<u>12 回</u>
小計	39 回

II. 視察会・研修会

6 回

III. その他出席諸会議等（協賛・後援含む）

19 回

合計 64 回

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和2年度事業報告書

1 委員会名 鳥取県成長戦略検討委員会 委員長 遠藤 彰

2 活動方向と成果

当委員会では、鳥取県と協調して鳥取県の成長に向けた戦略を検討することを活動方針としている。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、産業構造の変化や人々の価値観の変化が顕在化している。この大きな変革期をチャンスとして捉え、今何ができるのかを模索する活動を展開した。

同感染症が拡大する中、鳥取県西部総合事務所との意見交換会を開催できたが、懇親会は開催できなかった。

本年度の例会では、鳥取県が重要施策として位置付ける「週一副社長（都会で働く、専門的な知識や経験を持つ人材が、副業として鳥取県内の企業をサポートする）事業」に焦点を当て、事業の紹介と既に活用している会員企業の経営者や東京在住の専門家を Web で繋ぎ、事業の成果や課題を検証していった。アフターコロナの時代に経営資源の限られた地元企業がイノベーションに取り組むための有効な手段であると共に、人口減少が進む中、鳥取県との繋がりを持ち移住の促進にも繋がる施策である。

例会実施後、多くの会員企業から来年度「週一副社長事業」への参画の申込があった。

3 今後の課題

コロナ禍により大都市集中型の社会構造の脆弱性が顕在化し、地方への関心が今以上に高まることが予想される。「その受け皿として『選ばれる地方の条件』は何か?」、「行政として、産業界として、何ができるのか?」を鳥取県と連携して検討、実践していく。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会

■ 正副委員長会議

日 時：令和2年7月31日（金）15：00～15：50

場 所：Web

内 容：①鳥取県西部総合事務所長との意見交換会、②その他今年度事業

参加者：会員2名

■ 第2回正副委員長会議

日 時：令和2年8月6日（木）10：00～11：00

場 所：米子商工会議所

内 容：①鳥取県西部総合事務所長との意見交換会、②その他今年度事業

参加者：会員5名

■ 委員会・勉強会

日 時：令和2年9月4日（金）15：00～16：00

場 所：米子コンベンションセンター

内 容：①勉強会「鳥取県立ハローワーク『週一副社長』事業」
②ワークショップ「令和2年度委員会事業」

参加者：会員7名

（2）例会等

■ 鳥取県西部総合事務所との意見交換会

日 時：令和2年9月29日（火）16：00～17：30

場 所：鳥取県西部総合事務所

内 容：意見交換

参加者：会員7名、吉村 文宏 氏（鳥取県西部総合事務所長）他5名

■ 例会

日 時：令和2年12月4日（金）16：00～19：30

場 所：皆生グランドホテル天水

内 容：①事業説明

事 業：「鳥取県立ハローワーク事業・『週一副社長』事業について」

説 明：鳥取県商工労働部雇用人材局鳥取県立米子ハローワーク 所長 馬田 徹 氏

②パネルディスカッション

テーマ：「『週一副社長』事業事例について」

コーディネーター：鳥取県成長戦略検討委員会 委員長 遠藤 彰

パネラー：【受入企業】㈱アート建工 代表取締役 魚谷 宗司 氏

【専 門 家】㈱AOI Pro. 執行役員 神吉 康太 氏

【制度活用企業】㈱皆生グランドホテル 代表取締役社長 伊坂 明 氏

③懇親会

参加者：会員他 30 名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和2年度事業報告書

1 委員会名 鳥取島根合同委員会 委員長 高橋 宏之

2 活動方向と成果

インバウンドをはじめとする観光誘致に向け、山陰の魅力の発見や観光ルートの検討等、鳥取島根合同委員会ならではの活動を目指した。新型コロナウイルスの影響により、活動は限定的なものとなったものの、鳥取島根両県知事に対して「山陰地方における観光支援施策に関する提言書」を提出した。令和3年3月に鳥取島根両県で実施された「We Love 山陰キャンペーン」は提言内容とほぼ同様のものであり、活動の成果といえる。

また、島根・鳥取県経済同友会合同懇談会では、関西学院大学 渥美裕之 教授を招き、コロナ収束後に向け、山陰の魅力やインバウンド観光のあり方を学んだ。

3 今後の課題

鳥取県と島根県を一つのエリアとして認識した観光施策の重要性を感じる。また新型コロナウイルスの影響下だからこそすべきことと、アフターコロナに向けた取り組みがあると思うが、状況の変化に応じて柔軟な活動を行う必要がある。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会

■ 渥美教授を囲む会

日 時：令和3年3月26日（金）17:30～19:30

場 所：ANA クラウンプラザホテル米子

内 容：今後の観光・インバウンド事業

参加者：会員7名、渥美 裕之 氏（関西学院大学国際学部教授）、
川上代表幹事他3名（島根経済同友会）

（2）例会等

■ 第47回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会

日 時：令和3年3月26日（金）15:30～17:00

場 所：ANA クラウンプラザホテル米子

内 容：講演会

演 題：「この地域における今後のインバウンド観光」

講 師：関西学院大学国際学部 教授 渥美 裕之 氏

参加者：会員他47名、東部地区8名、中部地区1名、島根経済同友会20名

（3）提言

■ 山陰地方における観光支援策に関する提言

日 時：①令和2年8月1日（土）

②令和2年8月11日（火）

場 所：①米子コンベンションセンター

②島根県庁

内 容：①鳥取県知事への提言書提出

②島根県知事への提言書提出

参加者：①会員6名、平井 伸治 氏（鳥取県知事）他

②会員2名、丸山 達也 氏（島根県知事）他

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和2年度事業報告書

1 委員会名 教育委員会 委員長 板垣 慶太

2 活動方向と成果

本委員会は、地元高等学校の学生と経済団体の交流事業を継続的に実施しており、本年度は鳥取県立米子南高等学校に協力を仰ぎ、同校の特別活動行事として講演会を開催した。社会人になるための心構えや気持ちの持ち方等をテーマとして、当会の松村代表幹事と竹上会員（米子南高校OG）からご講演を頂き、同行の1年生・2年生の約250名が熱心に聴講した。竹上会員からは、コミュニケーションを上手くするための「きく」（聞く、訊く、聴く）習慣付けについてアドバイスを送り、講演後の質疑応答では学生と当会会員の意見交換も活発に行われた。地元経済団体として、地元就職し将来を担う学生に有益なアドバイスを送る機会となった。

3 今後の課題

次年度も実社会への準備段階にある学生に対し、地元経済に興味を持ち将来を考察するための交流事業を継続する。講演会にこだわらず、学生からの発表に基づくディスカッションも有意義と思われ、県内高等学校との意見交換を通じ、どのようなテーマで開催できるか検討したい。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）例会等

■ 例会

日 時：令和3年3月22日（月）13：30～15：30

場 所：鳥取県立米子南高等学校 体育館

内 容：①開会挨拶

鳥取県立米子南高等学校 教頭 深田 直 氏

②代表幹事挨拶

テーマ：「社会人入社5年目までに必要なことは、みんな学校で教わった」

話 者：鳥取県経済同友会西部地区 代表幹事 松村 順史

③講演会

演 題：「ENJOY MY WORK

～社会人生活は難しいというけれど、そうとも言えない！

気持ちの持ち方、行動の仕方、どんな風にも変わっていきける！～」

講 師：（株）インタープロス 代表取締役 竹上 順子 氏

④質疑応答

⑤謝辞

鳥取県立米子南高等学校 生徒会長 小原 彩花 さん

⑥閉会

参加者：会員他19名、米子南高等学校教員、生徒約250名（1年生120名、2年生130名）

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和2年度事業報告書

1 委員会名 国際経済委員会 委員長 伊坂 明

2 活動方向と成果

新型コロナウイルス感染症の影響により、海外視察が実施できなかったのは残念だった。そのため予定を変更して例会を開催し、鳥取県の取り組みと民間企業の状況について学ぶ機会を設けた。鳥取県は昨年同様、通商物流課と連携を図り、アジアを中心とした鳥取県の戦略について学んだ。また、今回は新たに鳥取県国際観光誘客課をお呼びし、現状のインバウンドへの取り組みについて情報を得た。上海便が就航1ヶ月で運休に追い込まれたが、その中で上海事務所を開設されている山陰合同銀行の矢野氏より、上海の状況やキャッシュレス等について説明を受けた。

3 今後の課題

引き続き海外視察は難しい状況にあるが、国内にてできること、学べることを思いつき、国際交流が再開した時に遅れを取らないように準備を進めておきたい。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会

■ 正副委員長会議

日 時：令和2年10月9日（金）13：30～14：30

場 所：皆生グランドホテル天水

内 容：今年度事業

参加者：会員4名、清水 明史 氏（鳥取県商工労働部通商物流課課長補佐）

■ 第2回正副委員長会議

日 時：令和3年1月15日（金）12：00～13：00

場 所：米子商工会議所

内 容：今年度事業

参加者：会員3名

（2）例会等

■ 例会

日 時：令和3年2月24日（水）16：00～17：40

場 所：皆生グランドホテル天水

内 容：①講演会

演 題：「鳥取県の海外ビジネスと国際観光の推進に関する取り組みについて」

講 師：鳥取県交流人口拡大本部観光交流局 局長 鈴木 俊一 氏・副局長 矢吹 隆 氏

鳥取県商工労働部通商物流課 課長 山本 桂司 氏

②講演会

演 題：「中国上海の現状」

講 師：㈱山陰合同銀行法人営業部海外進出支援グループ

前上海駐在員事務所長 矢野 哲也 氏

参加者：会員他33名（リアル：25名、オンライン：8名）

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和2年度事業報告書

1 委員会名 観光戦略委員会 委員長 秦野 博行

2 活動方向と成果

本年度の活動は「関西学院大学国際学部渥美教授との打合せ」を実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、例会開催ができなかった。教授からは当地の観光政策や当年度のフィールドワーク実施可能性のみならず、コロナ禍における大学の状況、また国際学部特有の問題等、幅広く意見交換させて頂き、多くのことを考える機会となった。

その中から以下の点について継続検討が必要であることが確認できた。

- ①「(現地入り前後) のゼミ生との関わり方」
- ②「(毎年入れ替わる) ゼミ生に対する当地観光の事前知識レベルの底上げ」
- ③「最終的な発表形態」

3 月には鳥取島根合同委員会における渥美教授講演会のサポートを通じて次年度の考察の機会とした。過去3年に亘り行った「フィールドワーク支援」について、次年度も引き続き取り組んでいきたい。

3 今後の課題

これまで通り「フィールドワーク支援」を中心的取り組みとしつつ、アフターコロナを見据えた“New Normalな観光政策”について、本年度の活動成果から得られた検討事項を踏まえて連携の枠組みを強化しつつ、当会としての考えを集約することを視野に入れる。

状況に応じて、対面・非対面を併用しての事業の実施可能性についても検討する必要がある。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会

■ 渥美教授との打合せ

日 時：令和2年9月10日（木）19：00～21：30

場 所：ANA クラウンプラザホテル米子

内 容：今年度事業

参加者：会員7名、渥美 裕之 氏（関西学院大学国際学部教授）

■ 渥美教授を囲む会

日 時：令和3年3月26日（金）17：30～19：30

場 所：ANA クラウンプラザホテル米子

内 容：今後の観光・インバウンド事業

参加者：会員7名、渥美 裕之 氏、川上代表幹事他3名（島根経済同友会）

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和2年度事業報告書

1 委員会名 大山圏域産業活性化特別委員会 委員長 皆廣 繁夫

2 活動方向と成果

今年度は、昨年の林業に続き大山圏域の主要産業である「農業」に着目した。中でも、生産性の向上や高齢化・後継者難といった諸課題への切り札として位置づけられる「スマート農業」に着目し、地元の農業法人・行政・金融機関等関係者と共にスマート農業による地域の活性化の課題や将来性について検討を行った。具体的な活動として、オープン例会を開催し慶應義塾大学教授の神成淳司氏による基調講演の後、鳥取県・日南町の担当者から事例報告を頂いた。

神成教授からは、わが国全体でも社会のデジタル化が急ピッチに進められようとしている中で、農業の生産性や収益性を高めていくためにも、生産現場での様々なデータだけでなく、販売・消費といった川下まで見据えたデータの活用が必要であり、農機具メーカーや各種ベンダーなどの個社別の横のデータを共有する動きや、共通領域を広げる動きが加速しているとの報告があった。

また、今後は川上から川下までの縦の連携と鮮度管理やトレーサビリティの向上によって、農業だけでなく食品業界全体の信頼性の向上や活性化・高付加価値化に繋がり、今後の食品の輸出拡大に繋がるとの指摘があった。

鳥取県からは、南部町のスマート農業の実証実験の内容や、現場からの投資コストや圃場整備、法整備の必要性について報告があった。日南町からは、トヨタ自動車と連携した生産性の向上や人材育成、ヤンマーとの連携によるブランド化への取り組み等独自の「儲かる農業」への取り組みが紹介された。

3 今後の課題

令和元年度～令和2年度の活動を通じて、大山圏域の基幹産業である農林業の現状や今後の可能性について検討を行った。急速な人口減少と高齢化の中で厳しい経営環境にあることには変わりはないが、スマート農業やスマート林業の進展により若手の担い手も着実に増加しつつあり、今後の大山圏域全体の発展の中核となっていくものと確信した。

コロナ禍にあって、デジタル化の進む農業・林業の価値や重要性は益々高まっており、大山圏域との連携を強化することで、加工・物流等の関連産業だけでなく観光・サービス業など、当エリアの産業全体の発展にも寄与するものと思われる。引き続き、大山圏域全域の地域資源に目を向け、地域の発展に繋がる活動に取り組みたい。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）例会等

■ オープン例会

日 時：令和2年10月30日（金）15：00～19：00

場 所：ANA クラウンプラザホテル米子

内 容：①講演会

演 題：「データ活用によるアグリイノベーション-AI 農業とスマートフードチェーン-」

講 師：慶應義塾大学環境情報学部 教授 神成 淳司 氏

②事例報告

報 告：「鳥取県におけるスマート農業の取り組みについて」

報告者：鳥取県西部総合事務所農林局西部農業改良普及所 次長 角脇 利彦 氏

報 告：「トヨタ自動車、ヤンマーと連携した SDGs 未来都市・日南町の農業情勢について」

報告者：日南町農林課 主任 荒金 太郎 氏

③意見交換

④懇親会

参加者：会員他 85 名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和2年度事業報告書

1 委員会名 新人教育検討特別委員会 委員長 森 由美子

2 活動方向と成果

今年度は、地域の課題である人材教育について、内容・時期・対象者等を検討した。その上で、同友会企業の社員の皆様の異業種交流会を当初企画していた。しかし、コロナ禍で企画は中止となり、2回の正副委員長会議にて今一度現状分析を行い再検討した。教育から離れる部分も多々あるが、深掘りすることで新たな視点も出てきた。

- ① 人材育成と共に、採用が課題
- ② 新人社員・中途採用・ミドル社員と多様な人材育成
- ③ 集合研修の難しさはWeb対応などを駆使する
- ④ 県外からの講師でなくても地元講師、同友会会員の方々が十分に対応可能
- ⑤ 若手社員とのジェネレーションギャップが相当あるため、我々が知る機会
- ⑥ 若手、ミドル人材同士の交流出合いの機会

3 今後の課題

コロナによる急激な外部環境の変化により価値観の多様化、行動変容が急速に進んだ。それらを考えると変化に対応していける人材という視点が必須である。地域も企業も人が創り、人の行動により発展、衰退が決まる。同友会の会員の皆様と共に、より一層の議論と研鑽による次世代の人材育成、リーダー育成が望まれる。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会

■ 正副委員長会議

日 時：令和2年12月2日（水）12：00～14：00

場 所：雲海

内 容：今年度事業

参加者：会員5名

■ 第2回正副委員長会議

日 時：令和3年3月10日（水）11：00～12：30

場 所：雲海

内 容：今年度事業総括

参加者：会員4名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和2年度事業報告書

1 委員会名 SDGs 検討特別委員会 委員長 野津 健市

2 活動方向と成果

昨年度は SDGs の内容を理解するため、公立鳥取環境大学の中尾准教授に講演をお願いした。今年度は本特別委員会の開設二年目となり、「SDGs をいかに実践に移していくか」を課題に検討を進めた。

本例会においては、鳥取県、自治体、民間からそれぞれご講演を頂いた。鳥取県からは新時代・SDGs 推進課の中村課長より、鳥取県の取り組みをご紹介頂いた。自治体からは日南町農林課の荒金主任に日南町の取り組みをご紹介頂いた。民間では山陰合同銀行地域振興部の井上調査役より、山陰の企業における SDGs の現状と今後の課題について、ご講演を頂いた。

本例会の講師の皆さんは山陰地方における SDGs のトップランナーと言える方々であり、SDGs の現状及び今後の対応について、非常に参考になる内容であった。

また、本例会の最後に鳥取県経済同友会西部地区として、SDGs 取り組み宣言を行った。

3 今後の課題

本特別委員会が立ち上がった平成 31 年 4 月と比較すると、SDGs は社会に広く浸透し、多くの企業に認知されるようになった。一方で、企業毎にその認識、取り組みには濃淡があり、SDGs 達成のため、より実効性のある具体的なアクションについて検討を行い、できることから着手していく必要がある。そのためにも鳥取県や県内各自治体ともコミュニケーションを強化し、連携した取り組みを進めていく必要がある。

SDGs の取り組み自体は各企業の事業、各企業の考え方に委ねられるものであり、今後は各企業が主体的に判断の上、具体的な取り組みを実行していくものである。従って「検討」を目的とした当委員会の今後の活動については再検討を行う必要があるものと思われる。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）例会等

■ 例会

日 時：令和 3 年 2 月 10 日（水）15：00～17：35

場 所：ANA クラウンプラザホテル米子

内 容：①講演会

演 題：「鳥取県における SDGs の推進と県として各企業に期待すること」

講 師：鳥取県令和新時代創造本部政策戦略監新時代・SDGs 推進課 課長 中村 吉孝 氏

②講演会

演 題：「SDGs 取り組みの先進自治体である日南町の取り組みについて」

講 師：日南町農林課 主任 荒金 太郎 氏

③講演会

演 題：「山陰の企業における SDGs 取り組みの現状と今後の方向性について」

講 師：(株)山陰合同銀行地域振興部地域振興グループ 調査役 井上 光悦 氏

④意見交換

⑤SDGs 取り組み宣言

鳥取県経済同友会西部地区 代表幹事 松村 順史・SDGs 検討特別委員会委員長 野津 健市

参加者：会員他 54 名（リアル：40 名、オンライン：14 名）

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和2年度事業報告書

1 委員会名 境港活用特別委員会 委員長 浦川 英敏

2 活動方向と成果

今年度はコロナ禍でありクルーズ船の寄港もなく、また、DBS の撤退もあり境港市の観光は大きなダメージを受けた。その中で境港市は 16 年ぶりの新市長が誕生した。伊達新市長の今後の舵取りが西部地区の観光のみならず経済へ与える影響も大きい。そこで今年度は、伊達新市長の今後の西部地区における連携についてご講演頂き、当会としての取り組みの参考にしたいと考えた。鳥取県西部地区にとどまらず、中海圏域市町村との連携が経済、防災に対して重要であることが再認識できた。

3 今後の課題

境港・米子間、そして中海・宍道湖を含めた 8 の字ルートの高規格道路の推進が経済、観光、防災面で重要であり、官民一体として推進していく必要がある。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会

■ 正副委員長会議

日 時：令和3年3月2日（火）12：00～13：30

場 所：米子商工会議所

内 容：今年度事業

参加者：会員 5 名

（2）例会等

■ 例会

日 時：令和3年3月31日（水）10：00～11：45

場 所：SANKO 夢みなとタワー

内 容：講演会

演 題：「境港の未来構想～西部地区市町村との連携と活用～」

講 師：境港市長 伊達 憲太郎 氏

参加者：会員他 38 名

鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和2年度事業報告書

1 委員会名 ふるさと教育特別委員会 委員長 石村 隆男

2 活動方向と成果

地域の活性化の中で、「ふるさと教育」が欠くことのできない大切なものと認識されるようになった。大人はもとより子どもたちが、地域（ふるさと）の成り立ちの歴史や地域の文化等私たちのルーツを知り、地域の魅力を自身の言葉で語れるようになることができれば、きっと地域は元気になれるはず。ということから、昨年度の準備期間において、歴史読本『ROOTS 弓浜半島物語』を編集・発行した。36頁のコンパクトなものではあるが、地球誕生、日本列島誕生、弓浜半島の成り立ちから、弓浜半島と周辺部で刻まれてきた先人の足跡・営みの歴史を古代から現代に至るまで通史でまとめ、時空を超えて地域を俯瞰した内容となった。また、鳥取県西部地区の小学6年生全員に配布ということもあり、用語解説やルビ等も充実させ、子どもから大人まで讀くことなく讀んで頂けるようにした。

5千部印刷し、そのうち約3千部は小学6年生全員、更に中学校、図書館など教育委員会関係と行政に配布した。他は経済同友会の会員や関係者、また関心を寄せて頂いた一般の方々にも配布した。

各教育委員会や各公民館、また郷土歴史家の方々からも高い評価を頂き、今後に残る読本となった。

3 今後の課題

読本は完成したが、この本を活用しての研修会（シンポジウムなど）の開催がコロナ禍もあり今年度は開催できなかった。今後は、この本をテキストに、講演やシンポジウムなど具体的な「ふるさと教育」を推進していきたい。可能であれば増刷も行い、新6年生にも継続配布できるよう検討していきたい。

4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

（1）正副委員長会議・委員会

■ 正副委員長会議

日 時：令和2年11月4日（水）12:00～13:00

場 所：レストラン ル・ポルト

内 容：今年度事業

参加者：会員4名

（2）例会等

■ ふるさと教育読本『弓浜半島物語』贈呈式（鳥取県・米子市）

日 時：令和2年12月12日（土）14:00～14:30

場 所：米子市役所

内 容：ふるさと教育読本『弓浜半島物語』の鳥取県・米子市への贈呈

参加者：会員7名、平井 伸治 氏（鳥取県知事）・伊木 隆司 氏（米子市長）他5名

■ ふるさと教育読本『弓浜半島物語』贈呈（日吉津村・大山町・南部町・伯耆町・日南町・日野町・江府町）

日 時：令和2年12月18日（金）10:00～17:30

場 所：日吉津村・大山町・南部町・伯耆町・日南町・日野町・江府町

内 容：ふるさと教育読本『弓浜半島物語』の鳥取県西部6町1村への贈呈

参加者：会員1名、6町1村の教育長・担当課長他

■ ふるさと教育読本『弓浜半島物語』贈呈（境港市）

日 時：令和2年12月18日（金）11:00～11:30

場 所：境港市役所

内 容：ふるさと教育読本『弓浜半島物語』の境港市への贈呈

参加者：会員2名、松本 敏浩 氏（境港市教育長）他2名

鳥取県経済同友会西部地区 令和2年度事業報告

（ 自 令和2年 4月 1日
至 令和3年 3月31日 ）

I 諸会議

■ 定時総会

期 日	場 所	内 容	出席者
R2. 5. 11 ～5. 21	書面	①令和元年度事業報告並びに収支決算承認 ②令和2年度事業計画(案)並びに収支予算(案)決定 ③役員選任	101 名

■ 幹事会

期 日	場 所	内 容	出席者
R2. 5. 21	休会（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため）		

■ 監査会

期 日	場 所	内 容	出席者
R2. 4. 20	米子商工会議所	①令和元年度事業報告並びに収支決算報告 ②令和元年度会計監査	5 名

■ 懇談会

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R2. 10. 23 ～24	第118回西日本経済同友会会員合同懇談会	中止（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため）		
R2. 11	第28回鳥取県・岡山経済同友会合同懇談会	延期（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため）		
R3. 3. 26	第47回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会	ANA クラウン プラザホテル 米子	講演会 演 題：「この地域における今後のインバ ウンド観光」 講 師：関西学院大学国際学部 教授 渥美 裕之 氏	76 名

■ 例会

期 日	場 所	内 容	出席者
R2. 10. 30	ANA クラウン プラザホテル 米子	担当：大山圏域産業活性化特別委員会 ①講演会 演 題：「データ活用によるアグリイノベーション -AI 農業とスマートフードチェーン-」 講 師：慶應義塾大学環境情報学部 教授 神成 淳司 氏 ②事例報告 報 告：「鳥取県におけるスマート農業の取り組みについて」 報告者：鳥取県西部総合事務所農林局西部農業改良普及所 次長 角脇 利彦 氏 報 告：「トヨタ自動車、ヤンマーと連携した SDGs 未来都市・日南町の 農業情勢について」 報告者：日南町農林課 主任 荒金 太郎 氏 ③意見交換 ④懇親会	85 名 (会員 31 名)
生産性の向上や高齢化・後継者難といった課題解決の切り札として位置付けられる「スマート農業」による地域活性化について学ぶための例会を開催した。会員のみならず、行政関係者、農業関係者、金融機関等にも参加頂くオープン例会の形式とした。 神成氏からは様々な農業データを活用するプラットフォーム「農業データ連携基盤（WAGURI）」、生産から消費までのプラットフォーム「スマートフードチェーン」について解説頂いた。角脇氏からは鳥取県の取り組み、荒金氏からは民間企業と連携した取り組みについて、それぞれ事例報告を頂いた。 意見交換では、神成氏・角脇氏・荒金氏から司会者の質問に対する回答を頂いた他、参加者の質問も受け付けた。例会後には、新型コロナウイルス感染予防対策を講じて、懇親会を開催した。			

期 日	場 所	内 容	出席者
R2. 12. 4	皆生グランド ホテル天水	担当：鳥取県成長戦略検討委員会 ①事業説明 事 業：「鳥取県立ハローワーク事業・『週一副社長』事業について」 説 明：鳥取県商工労働部雇用人材局鳥取県立米子ハローワーク 所長 馬田 徹 氏 ②パネルディスカッション テーマ：「『週一副社長』事業事例について」 コーディネーター：鳥取県成長戦略検討委員会 委員長 遠藤 彰 パネラー：【受入企業】(株)アート建工 代表取締役 魚谷 宗司 氏 【専 門 家】(株)AOI Pro. 執行役員 神吉 康太 氏 【制度活用企業】(株)皆生グランドホテル 代表取締役社長 伊坂 明 氏 ③懇親会	30 名
この度の例会では、アフターコロナの時代に「都市への人口集中がもたらす弊害」が現実のものとなり、働き方に対する「価値観の変化」が予想されることに着目した。そのような流れをいち早く取り入れ、都会の優秀な人材を地方企業とマッチングさせることで、将来的には移住にまで結び付けようとする事業が、鳥取県立ハローワークによる「週一副社長」である。 馬田氏から「週一副社長」事業の概要を説明頂いた後、同事業の事例に関するパネルディスカッションを行った。受入企業である(株)アート建工の魚谷氏（当会会員）は同制度を「大都市の優秀な人材を受け入れる制度」として積極的に活用していることを紹介した。専門家の(株)AOI Pro. 神吉氏には Web 出演頂き、多彩なメディアを駆使して魚谷氏への協力の様子をお話し頂いた。制度活用企業の(株)皆生グランドホテルの伊坂氏（当会常任幹事）からは今後の同事業を活用した採用の方針等が示された。			

期 日	場 所	内 容	出席者
R3. 2. 10	ANA クラウン プラザホテル 米子	担当：SDG s 検討特別委員会 ①講演会 演 題：「鳥取県における SDGs の推進と県として各企業に期待すること」 講 師：鳥取県令和新時代創造本部政策戦略監 新時代・SDGs 推進課 課長 中村 吉孝 氏 ②講演会 演 題：「SDGs 取り組みの先進自治体である日南町の取り組みについて」 講 師：日南町農林課 主任 荒金 太郎 氏 ③講演会 演 題：「山陰の企業における SDGs 取り組みの現状と今後の方向性について」 講 師：(株)山陰合同銀行地域振興部地域振興グループ 調査役 井上 光悦 氏 ④意見交換 ⑤SDGs 取り組み宣言 鳥取県経済同友会西部地区 代表幹事 松村 順史 〃 SDGs 検討特別委員会委員長 野津 健市	54 名
SDGs の取り組みを実施されている行政や企業の事例紹介や当地にて実施する場合の諸問題の整理を通じて、SDGs 取り組みの契機や推進の参考として頂けるよう 3 つの講演会を企画した。この度は、新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、Web 参加も可能とした。 中村氏は SDG s の推進によって企業価値の向上や競争力の強化へ繋げていくことができると話された。荒金氏には過疎高齢化が進む日南町におけるコンパクトビレッジ構想や企業と連携した森林保全の取り組み等を解説して頂いた。井上氏は他社とのパートナーシップによって SDG s の取り組みを推進していくことの重要性を話された。 最後に、松村代表幹事と野津委員長による SDG s 取り組み宣言を行い、持続可能な開発目標に賛同し、その達成に向けた事業・活動に取り組んでいくことを確認した。また、日南町の白谷工房が制作する「SDG s バッジ」を全会員向けに購入・配布することとした。			

期 日	場 所	内 容	出席者
R3. 2. 24	皆生グランド ホテル天水	担当：国際経済委員会 ①講演会 演題：「鳥取県の海外ビジネスと国際観光の推進に関する取り組みについて」 講師：鳥取県交流人口拡大本部観光交流局 局長 鈴木 俊一 氏 〃 副局長 矢吹 隆 氏 鳥取県商工労働部通商物流課 課長 山本 桂司 氏 ②講演会 演題：「中国上海の現状」 講師：(株)山陰合同銀行法人営業部海外進出支援グループ 前上海駐在員事務所長 矢野 哲也 氏	33名

新型コロナウイルス感染症の影響により本年度の海外視察を止む無く断念したが、鳥取県西部地域がグローバル化の進展を果たすために講演会を開催した。新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、Web参加も可能とした。

鈴木氏・矢吹氏はウィズコロナ・ポストコロナに即したインバウンド誘客として、オンラインツールを活用した観光・食・アクセス等の情報提供を行うことが取り組み方針の1つとして示された。山本氏からは、コロナ禍で海外ビジネス展開の手法がオンライン化されたことが指摘され、新たなビジネス展開を考える機会となった。矢野氏は上海の現状を現地の写真や映像を基に解説され、コロナ禍での日系企業のビジネスチャンス等が明らかになった。

期 日	場 所	内 容	出席者
R3. 3. 22	鳥取県立 米子南 高等学校	担当：教育委員会 ①面談 鳥取県立米子南高等学校 教頭 深田 直 氏と当会会員 ②代表幹事挨拶 テーマ：「社会人入社5年目までに必要なことは、みんな学校で教わった」 話 者：鳥取県経済同友会西部地区 代表幹事 松村 順史 ③講演会 演 題：「ENJOY MY WORK ～社会人生活は難しいというけれど、そうとも言えない！ 気持ちの持ち方、行動の仕方、どんな風にも変わっていける！～」 講 師：(株)インタープロス 代表取締役 竹上 順子 氏	約 270 名 (会員他 19 名)
将来に亘る地域の発展のため、かねてより教育問題を重要事項として事業に取り組んでおり、この度は鳥取県立米子南高等学校教員・生徒を対象とした講演会を開催した。 松村代表幹事からは、社会に出るにあたって必要となる基本的なことを高校生活の中で学んでほしいというメッセージが伝えられた。同校のOGでもある竹上氏（当会会員）からは、気持ちの持ち方次第で仕事を楽しむことができること、聞き方（聞く・訊く・聴く）を身に着けることで社会人生活をエンジョイできること等が伝えられ、地元就職率の高い同校の生徒は熱心に聞き入った。 質疑応答では当会会員が質問に答える場面もあり、笑顔を大切にしてコミュニケーションをとることや雑談力の大切さ等を生徒に伝えることができた。			

期 日	場 所	内 容	出席者
R3. 3. 31	SANKO 夢みなと タワー	担当：境港活用特別委員会 ①講演会 演 題：「境港の未来構想～西部地区市町村との連携と活用～」 講 師：境港市長 伊達 憲太郎 氏	38 名
「“変わりゆく境港” 点から線へ・魅力ある観光地へ！」をテーマに観光に焦点を当て、境港の持つポテンシャルについて理解を深め、魅力ある観光地になる為の提言に繋げることを目的に例会を開催した。 16年ぶりに境港市の新市長となられた伊達憲太郎氏（当会参与）を講師に迎え、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する中、観光や飲食、水産といった市内の各産業への支援状況等についてお話し頂いた。特に米子ー境港間高規格道路等の交通基盤の整備が必要であり、鳥取県西部を挙げて取り組んでいくことが重要であると強調され、会員は理解を深めた。			

■ 総務委員会

期 日	場 所	内 容	出席者
R2. 4. 24	休会（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため）		
R2. 5. 21			
R2. 6. 23	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の入退会・交替 ④グループウェア導入 ⑤令和2年度委員会等事業 ⑥その他	25 名
R2. 7. 14	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の入退会・交替 ④令和2年度委員会等事業 ⑤その他	23 名
R2. 9. 11	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の入退会・交替 ④その他	26 名
R2. 10. 13	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の入退会・交替 ④その他	25 名
R2. 11. 11	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③その他	21 名
R2. 12. 14	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③その他	22 名
R3. 1. 27	休会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）		
R3. 2. 18	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の退会・交替 ④その他	22 名
R3. 3. 16	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の入会・交替 ④その他	24 名

■ 総務委員会正副委員長会議（正副代表幹事・正副総務委員長）

期 日	場 所	内 容	出席者
R2. 4. 24	休会（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため）		
R2. 5. 21			
R2. 6. 14	ANA クラウンプラザホテル米子	①グループウェア「イーデスク」講習 ②総務委員会上程案件 ③その他	10 名
R2. 6. 23	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会上程案件 ②その他	8 名
R2. 7. 14	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会上程案件 ②その他	10 名
R2. 9. 11	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会上程案件 ②その他	10 名
R2. 10. 13	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会上程案件 ②その他	10 名
R2. 11. 11	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会上程案件 ②その他	9 名
R2. 12. 14	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会上程案件 ②その他	9 名
R3. 1. 27	電磁的開催	①総務委員会上程案件 ②その他	10 名
R3. 2. 18	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会上程案件 ②その他	9 名
R3. 3. 16	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会上程案件 ②その他	9 名

■ 委員会・特別委員会等

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R2. 7. 31	正副委員長会議 (鳥取県成長戦略検討委員会)	電磁的開催	今年度実施事業	2 名
R2. 8. 6	第 2 回正副委員長会議 (鳥取県成長戦略検討委員会)	米子商工会議所	今年度実施事業	5 名
R2. 8. 18	正副委員長会議 (大山圏域産業活性化特別委員会)	雲海	今年度実施事業	4 名
R2. 9. 4	委員会・勉強会 (鳥取県成長戦略検討委員会)	米子コンベン ションセンター	①鳥取県立ハローワーク 「週一副社長」事業勉強会 ②ワークショップ 「令和 2 年度委員会事業」	7 名
R2. 9. 10	渥美教授との打合せ (観光戦略委員会)	ANA クラウン プラザホテル米子	今年度実施事業	7 名
R2. 10. 9	正副委員長会議 (国際経済委員会)	皆生グランド ホテル天水	今年度実施事業	5 名
R2. 11. 4	正副委員長会議 (ふるさと教育特別委員会)	レストラン ル・ポルト	今年度実施事業	4 名
R2. 12. 2	正副委員長会議 (新人教育検討特別委員会)	雲海	今年度実施事業	5 名
R3. 1. 15	第 2 回正副委員長会議 (国際経済委員会)	米子商工会議所	今年度実施事業	3 名
R3. 3. 2	正副委員長会議 (境港活用特別委員会)	米子商工会議所	今年度実施事業	5 名
R3. 3. 10	第 2 回正副委員長会議 (新人教育検討特別委員会)	雲海	今年度事業総括	4 名
R3. 3. 24	渥美教授を囲む会 (鳥取島根合同委員会・観光戦略委員会)	ANA クラウン プラザホテル米子	今後の観光・インバウンド事業	7 名

■ 視察会・研修会等

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R2. 4. 23	島根原子力発電所視察会	中止（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため）		
R2. 6. 10	グループウェア講習会	ANA クラウン プラザホテル米子	グループウェア「イーデスク」	30 名
R2. 8. 24	新入・交替会員研修会 (総務委員会)	皆生菊乃家	①新入・交替会員研修会 ②懇親会	29 名
R2. 9. 29	鳥取県西部総合事務所 との意見交換会 (鳥取県成長戦略検討委員会)	鳥取県 西部総合事務所	意見交換会	7 名
R2. 11. 15	会員親睦ゴルフコンペ	大山ゴルフクラブ	ゴルフコンペ	11 名
R2. 12. 12	ふるさと教育読本贈呈式 (ふるさと教育特別委員会)	米子市役所	鳥取県・米子市への 『弓浜半島物語』贈呈	7 名
R2. 12. 18	ふるさと教育読本贈呈 (ふるさと教育特別委員会)	鳥取県西部 6 町 1 村役場	鳥取県西部 6 町 1 村への 『弓浜半島物語』贈呈	1 名
		境港市役所	境港市への 『弓浜半島物語』贈呈	2 名

■ その他会議等（協賛・後援含む）

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R2. 4. 16 ～17	第 33 回全国経済同友会 セミナー(高知大会)	中止（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため）		
R2. 5. 18	中国横断新幹線 (伯備新幹線) 整備推進会議総会	書面	①役員改選 ②令和元年度事業報告・収支決算報告 ③令和 2 年度事業計画(案)・収支予算(案) ④総会決議(案)	-
R2. 5. 27	山陰インド協会 定期総会	書面	①令和元年度事業報告・収支決算報告 ②令和 2 年度事業計画(案)・収支予算(案)	-
R2. 6. 10	鳥取県経済同友会 幹事会	ANA クラウン プラザホテル 米子	①令和元年度事業報告・収支決算報告 ②令和 2 年度事業計画(案)・収支予算(案)	37 名
	鳥取県経済同友会 定時総会		③役員改選 ④第 13 回日本海沿岸地域代表幹事サミット	55 名
R2. 6. 15	伯耆国「大山開山 1300 年祭」 実行委員会第 8 回総会	書面	①令和元年度事業報告・収支決算報告 ②実行委員会の解散	-
R2. 6. 19	国際定期便利用促進協議会	書面	①令和元年度事業報告・収支決算報告 ②令和 2 年度一般会計収支予算の変更	-
R2. 6. 26	地ビールフェスタ in 米子 復活祭	ひまわり駐 車場	復活祭オープニングセレモニー	松村 代表幹事
R2. 6. 30	名物料理を作る会 通常会員総会	書面	①令和元年度事業報告・収支決算報告 ②令和 2 年度事業計画(案)・収支予算(案)	-
R2. 7. 9	米子空港利用促進懇話会 総会	書面	①令和元年度事業報告・収支決算報告 ②令和 2 年度事業計画(案)・収支予算(案)	-
R2. 7. 21	第 7 回西日本経済同友会 代表者会議	中止（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため）		
R2. 8. 30	富山和彦先生特別講演会	米子コンベン ションセン ター	講演 演題：「経済復興の主役はローカル経済！ ～ウィズコロナ、ポストコロナ 時代の挑戦課題～」 講師：(株)経営共創基盤 代表取締役 CEO 富山 和彦 氏	15 名
R2. 9. 15	外国人観光客おもてなし 対応セミナー	国際ファミ リープラザ	①講演 演題：「これから取り組むインバウンド対 策～外国人観光客対応で地域を元 気に！」 講師：(一社)ジャパンショッピングツー リズム協会 事業推進部長 神郡 慶子 氏 ②講演 演題：「免税登録までの道のり ～その効果と実体験～」 講師：岡山市表町商店街連盟 常務理事・事業推進部長 矢部 久智 氏	3 名
R2. 9. 29	名物料理を作る会 ウェルカニ料理コンテスト	皆生グラン ドホテル天 水	料理コンテスト	松村 代表幹事
R2. 10. 9	鳥取県経済同友会 ホームページ更新講習会	倉吉商工会 議所	ホームページ更新	事務局
R2. 10. 21	内閣府副大臣等との昼食会	米子ワシン トンホテル プラザ	①意見交換 ②昼食会	2 名

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R2. 11. 17	米子市まちづくりビジョン 市長・団体懇話会	米子市役所	①米子市まちづくりビジョン概要説明 ②米子市まちづくりビジョン意見交換	3 名
R3. 3. 15	全国経済同友会 代表幹事円卓会議	書面	①第 33 回全国経済同友会セミナー中止 に伴う費用負担 ②第 33 回全国経済同友会セミナー企画案 ③第 38 回全国経済同友会セミナー開催地決定 ④第 39 回全国経済同友会セミナー開催地決定	-
R3. 3. 21	白砂青松の弓ヶ浜 サイクリングコース開通 1 周年記念行事・美化活動	米子市クリーンセンター他	①開通 1 周年記念行事 ②美化活動	5 名
R3. 3. 24	やど紫苑亭内覧会	やど紫苑亭	内覧会	2 名
R3. 3. 26	鳥取県経済同友会 正副代表幹事・事務局会議	倉吉シティホテル	①令和 3 年度定時総会 ②第 13 回日本海沿岸地域代表幹事サミット ③令和 3 年度負担金	4 名

Ⅱ 提言

日 時：令和 2 年 8 月 1 日（土）・8 月 11 日（火）

場 所：米子コンベンションセンター・島根県庁

内 容：「山陰地方における観光支援策に関する提言書」（担当：鳥取島根合同委員会）

要望先：鳥取県知事、島根県知事